

# 自見先生からのご寄稿いただきました

## 参議院議員 自見はなこ 活動報告

### 「国民医療の発展に向けて」

いつも大変お世話になっております。

今年も残すところあとわずかとなりました。本年は、四月にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、六月には「ごども家庭

庭庁設置法」ならびに「ごども基本法」が成立。七月には参議院議員選挙で再選させていただきました。

八月には内閣府大臣政務官を拝命し、来年四月のごども家庭庁設置に向けた準備や物価高騰対策での新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用など幅広い分野に携わり、大きな変化の年でした。

日本医師連盟の先生方の温かいご理解とご支援に、改めて深く感謝申し上げます。

十二月二日、新型コロナウイルス感染症や医療DXの推進を盛り込んだ令和四年度第二次補正予算が無事成立し、十二月十日に国会が閉幕しました。

年末にかけては、来年度の予算と税制の議論が詰めの時期を迎えます。今年も最後まで全力で駆け抜けます。引き続きご指導とご鞭撻のほどお願い申し上げます。

「かかりつけ機能報告制度」の議論について  
十一月二十八日、厚生労働省社会保障審議会医療部会において、「かかりつけ機能報告制度の創設が議題とされました。これは、かかりつけ医をもつことを義務化とせず、あくまで国民・患者が医療機関を選択して活用する趣旨の制度ですが、医療費削減を目的とする「かかりつけ医の制度化」につながるよう注意して参ります。

有床診療所の活性化を目指す  
十一月十七日、斎藤義郎会長はじめ全国有床診療所連絡協議会の先生方をお迎えして、有床診療所の活性化を目指す議員連盟総会を開催いたしました。今回は役員改選があり、事務局次長を拝命いたしました。その後の議事では、全国有床診療所連絡協議会から令和六年度診療報酬改定に向けたご要望をいただきました。

超党派 成育基本法推進議員連盟第18回総会  
十二月五日に開催した第十八回総会では、成育基本法に基づく成育医療等基本方針の改定が議題になりました。二〇二二年二月に閣議決定された基本方針の最初の改定が年度内にあるため、政府の改定案について超党派 成育基本法推進議員連盟で議論し、妊娠・出産を支える医療提供体制の充実や、男女問わず妊娠・出産に対する理解を深めることの必要性のほか、個別

のテーマとして乳幼児の弱視や難聴の早期発見、学校健診での脊柱側弯症健診についても、さらに力強く推進するよう求める発言が相次ぎ、厚生労働省からも前向きに受け止めて改定作業を進める旨の発言がありました。改定案は、年明けにパブリックコメントを踏まえたものを再度議論で検討する予定です。

Children Firstの子どもも行政のあり方勉強会  
ごども家庭庁設置に向けて、若手議員有志による議員勉強会も、共同事務局を務める山田太郎参議院議員と協力して続けています。十一月七日に開催した第三十五回勉強会では、NPO 法人愛伝舎の坂本久海子理事長を講師にお迎えして、「外国人のごどもを取り巻く課題」をテーマに開催しました。日本語ができないという理由だけで特別支援学級に編入する等の課題について、日本語指導体制の充実や、各種支援制度の周知などを省庁横断的に進めなければならぬと認識を新たにしました。十一月二十九日には「不登校」

にフォーカスして第三十六回勉強会を開催し、学校法人西濃学園の北浦茂学園長と認定NPO 法人カタリバの今村久美代表理事を講師にお迎えして、それぞれ「西濃学園の不登校支援 社会的自立を目指して」、「不登校の現状と、誰一人取り残さない支援のあり方」をテーマにご講演いただきました。来年四月のごども家庭庁設置に向けて、担当政務官として政府の立場から準備を進めていますが、並行して議員勉強会としても議論を深めて参ります。



12月1日 経済産業省、厚生労働省、AMED共催によるプログラム医療機器(SaMD)に関する産学官連携フォーラムにて、太田房江経済産業副大臣と



11月17日 有床診療所の活性化を目指す議員連盟総会にて、全国有床診療所連絡協議会の先生方と



10月25日 首相官邸で岸田文雄内閣総理大臣も出席されて開催された「国と地方の協議の場」で司会進行を務めました



12月1日 鈴木直道北海道知事、和田義明内閣府副大臣とともに内閣府大臣政務官として北方領土返還要求中央アピール行動に参加



11月4日 日本側彎症学会学術集会にて。このほか、東日本小児科学会などさまざまな学会で講演させていただけることは、本当に光栄です



10月15日 日本臨床眼科学会で講演



12月12日 超党派 脳卒中・循環器病対策フォローアップ議員連盟第6回総会